



24 橋本雅邦

《春秋山水図》 対幅

明治三十四年（一九〇一）

絹本墨画淡彩

本紙各一・二九・二×八五・〇

本作は「夏冬山水図」（作品番号23）が制作された五年後、明治三十四年（一九〇一）に宮内省の依頼により制作された。本作と「夏冬山水図」をあわせると四季がそろうが、四幅対ではなく、修復前の表具裂は同一ではない。描写の上でも差異があり、「夏冬山水図」と比較して本作では没骨描法が進み、墨の濃淡で樹木の前後関係を丁寧に描き分けている。例えば、冬景と秋景の木立の描写を見比べれば明らかであろう。また、春秋ともに彩色が豊かであるのが特徴で、春景の梅花の白、樹木の緑、楼閣の朱、秋景の赤や黄に染まった木々、水辺の蘆の緑などが画面に潤いを与えている。柔らかな彩色と繊細な墨の濃淡によって、画面の奥行きのみならず、陽光までも描出しており、雅邦が追求した新しい日本画の表現というものが、実験の段階を越え彼自身のものとなっている。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

皇室技芸員と一九〇〇年パリ万国博覧会

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 47

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十年七月十九日発行

© 2008 The Museum of the Imperial Collections